

第 10 回 身心統合科学 (BAMIS) セミナー
BAMIS Satellite International Forum
温暖化環境へのヒトと社会の「たくましき」適応



Co-benefit and health problems on global warming

Possibility of exercise training as the countermeasure

1 月 10 日 月 (祝日) 13:00 ~ 17:30

会場：5 C 606

世話人：西保 岳 (2616)、本田 靖 (2627) 参加費無料、参加申込不要

1) 13:00 -13:30 Global warming and health problem

Yasushi Honda, Professor,
University of Tsukuba

2) 13:30-14:30 Human Thermo-regulation in the heat

Narihiko Kondo, Professor, Kobe
University

3) 14:45- 15:45 Exercise training improves thermal tolerance

Christopher Minson, Associate
Professor, University of Oregon

4) 15:45- 16:45 Co-benefit on global warming

Alistair Woodward, Professor,
University of Auckland

5) 16:45-17:30 Discussion

Chair: Yasushi Honda and Takeshi Nishiyasu, University of Tsukuba

地球温暖化による健康問題と コベネフィット

暑熱順化トレーニングの可能性

今夏季における連日の熱中症に関する報道が示すとおり、地球温暖化の進む（と考えざるをえない）なか、近未来気候変化をシミュレーションしつつ、健康問題や適切な夏季スポーツや体育授業のあり方について、緊急に検討する必要がある。個人レベルでの暑熱対策法として、効果的な水分摂取法や衣服の開発などに加えて、暑熱環境に対応できる能力（暑熱耐性）の効果的な向上方法の開発が挙げられる。この暑熱耐性は、運動トレーニングによって向上することがわかっており、ヒトが本来持っている順化・適応能力を利用したこのトレーニングは、今後の温暖化に対する健康問題・スポーツ・体育現場における強力な対応策であると考えられる。本フォーラムでは、その暑熱順化プログラムによって変化するであろうヒト暑熱耐性の向上のメカニズムや可能性に関して運動生理学的立場から、そして近未来での健康問題やそれに付随するクーラー使用率低下効果等の社会的影響すなわちコベネフィット（付加的利益）に関して環境保健学的（疫学研究）立場から、それぞれ情報を提供し、相互理解を深め新しい領域を模索することを目的とする。

主 催	文科省特別経費プロジェクト「たくましい心を育むスポーツ科学イノベーション」 筑波大学大学院人間総合科学研究科 体育科学専攻・コーチング学専攻 スポーツ医学専攻、システム情報工学研究科 知能機能システム専攻
拠点代表	征矢英昭（体育科学専攻）
連絡先	松田佐保（BAMIS 推進室 体育科学系棟 A225）Tel: 029-853-6325
E-mail	matsuda.saho.ga@un.tsukuba.ac.jp
URL	http://bamis.taiiku.tsukuba.ac.jp/